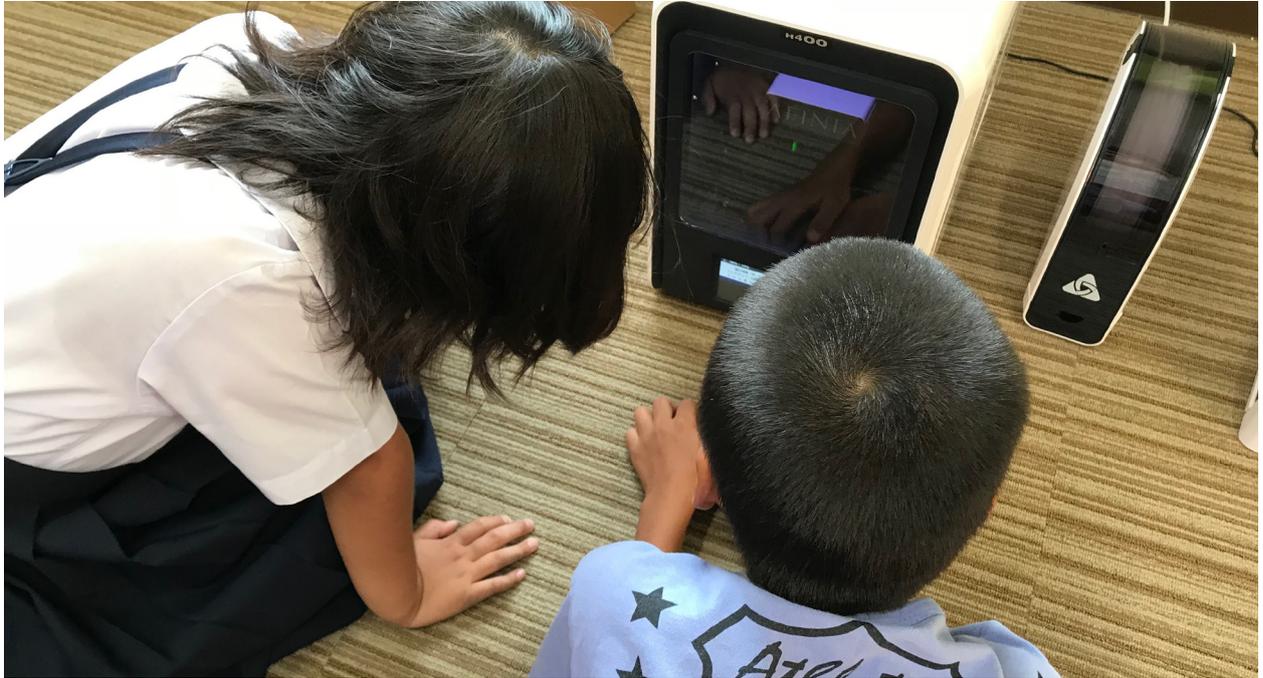


ちなみに、

こんにちは、きみちゃんです。実は今、妊娠しております、来月より1年間ほど地域おこし協力隊の活動をお休みさせていただくことになりました。出産は島外での予定ですが、なるべく早いタイミングでえらぶに帰ってきたいなあと思っています！引き続きよろしくお願いいたします。

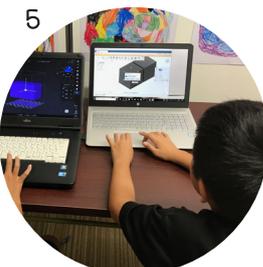


毎週火曜と木曜に実施している「放課後のまなび場」では、主に学校の宿題をする時間と自由な学び「えらぶラボ」の時間があります。この「えらぶラボ」では、お絵かきや折り紙をする子がいたり、アナログゲームやタブレットのアプリ、パソコンを使った活動などが含まれます。先日は縁あってお借りすることができた3Dプリンターを使った特別プログラムを実施しました。

3Dプリンターは3Dデータをもとに「材料」を積層しながら「立体」を出力することのできる機械のことです。まだ一般的にはあまり馴染みのないものかもしれませんが、海外では3Dプリンターの技術を用いてたった二十四時間で家を建ててしまう例があったりと、この先の発展を考えると、これまでの常識をすっかり覆してしまう可能性を秘めた装置です。放課後のまなび場で3Dプリンターを実演してみせると、子どもたちは興味津々！一生懸命プリンターをのぞき込んでいました。

せっかくなので、これまでの活動をいかしてなにかをプリントしてみよう！と提案したところ、ビーチクリーン時に拾いにくくて困っている「ガラス専用の携帯ごみ箱」と「ウミガメの足跡」を作りたいという意見が出て、実際に3Dデータ化してプリントしてみました。この詳細については、上のQRコードからとべるフェイスブックのページにて詳細をご紹介しますので、合わせてご覧いただけますと嬉しいです。えらぶならではの活動と、最先端のデジタル技術を組み合わせた面白いプログラムの一例として、今後のICT教育につなげていきたいなと思います。

ちなみに、この3Dプリンター、本当は十月二日にエラブココで実施予定だったパソコン講座で一般公開(?)する予定だったのですが、台風の影響により講座が中止となってしまいお披露目することができませんでした。今回は残念な結果となりましたが、また機会を見つけて放課後のまなび場以外でもこういった機会を増やして参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



1_2 ウミガメの足跡はウミガメネットワークの山下さんにもチェックいただき、アカとアオの足跡の違いを立体化しました。3_割れたガラス専用の携帯ごみ箱。小さな工夫が光る！ 4_ちなぽーのミニボックスは商品化したレベル！ 5_モデリングにも挑戦！